Market Letter マーケット・レター
フランクリン・テンプルトン・ジャパン
2025年9月

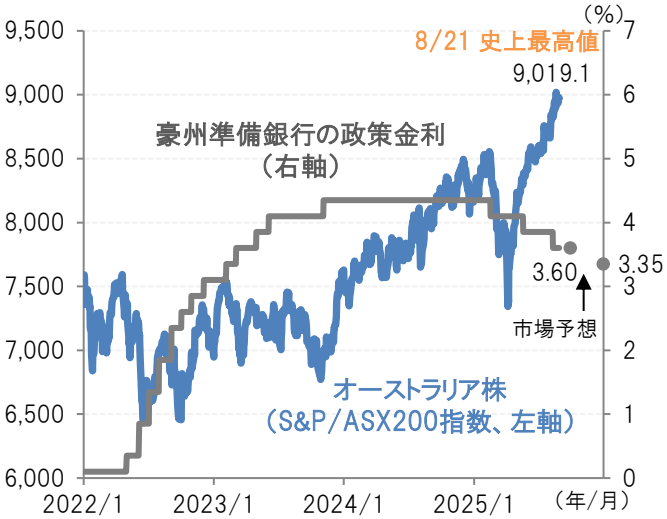
最高値を更新した今見直したい、オーストラリア株の3つの魅力

2025年の世界の金融市場は、トランプ政権がもたらす不確実性等を背景に、大きく揺れ動いています。こうした先行きの見えにくい不透明な投資環境の中、米国以外の安定した投資先を求める投資家の間で、オーストラリア株への関心が高まりつつあります。本資料では、**①米ドルからの分散先として注目のオーストラリア株**、**②安定した配当の積み上げが支える長期で良好なパフォーマンス**、**③株式市場を支える強固な年金制度**といった3つの観点からオーストラリア株の魅力的な特徴をご紹介します。

金融緩和等を追い風にオーストラリア株は史上最高値を更新

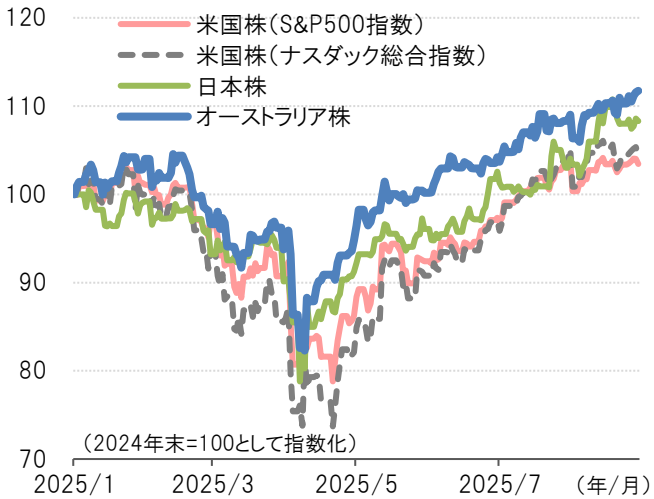
- 2025年8月21日のオーストラリア株式市場では、金融緩和等を追い風にS&P/ASX200指数が節目となる9,000ポイントを突破し、**史上最高値を更新**しました（図1）。
- また、2025年初来の主要国の株価を見ると、オーストラリア株が**比較的安定して推移**していることが分かります（図2）。

図1：オーストラリア株と政策金利の推移



（出所）ブルームバーグ （期間）実績：2022年1月3日～2025年8月29日、予想：2025年9月末、12月 ※市場予想はブルームバーグ集計の市場コンセンサス（2025年8月20日時点）

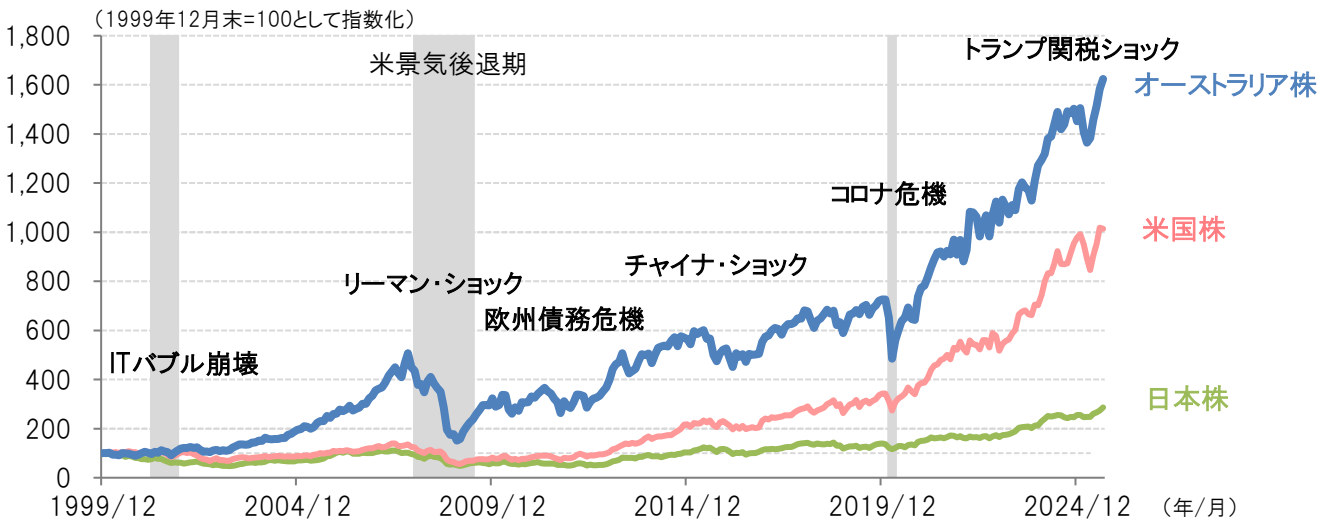
図2：2025年初来の主要国の株価推移（円換算）



（出所）ブルームバーグ （期間）2025年1月2日～2025年8月29日
※オーストラリア株はS&P/ASX200指数、日本株は東証株価指数（TOPIX）、すべて配当込み、円建て

- オーストラリア株は、**長期の視点で見ても様々な危機を乗り越え成長**を続けてきました（図3）。

図3：オーストラリア株の長期のパフォーマンス（円換算）

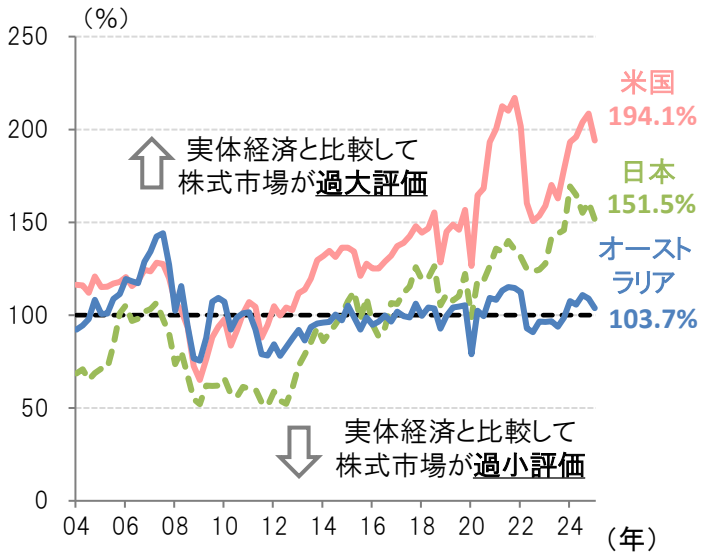


（出所）ブルームバーグ （期間）1999年12月末～2025年8月末、月次
※米国株はS&P500指数、オーストラリア株はASX200指数、日本株は東証株価指数（TOPIX）。指数はすべて配当込み、円建て

①米ドルからの分散先として注目のオーストラリア株

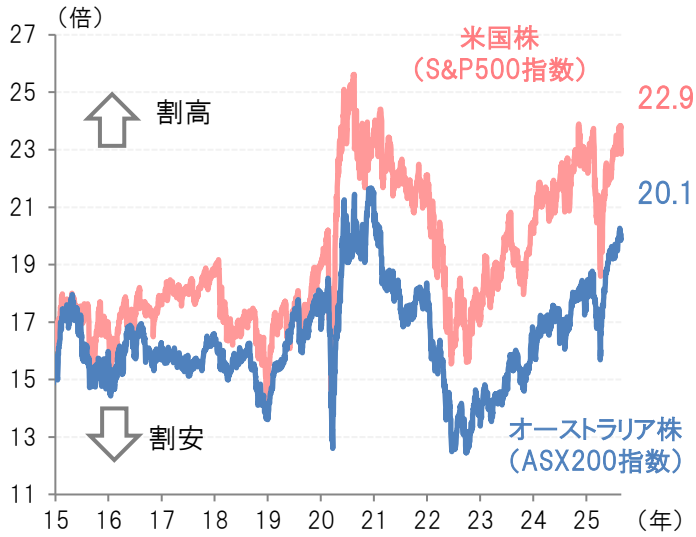
- 大手ハイテク株中心に株価が堅調な米国ですが、一部では過熱感も見られます。名目GDPとの比較では、米国株に割高感がある一方、**オーストラリア株には相対的に割安感**が残っています（図4）。
- また、代表的なバリュエーション指標である12ヵ月先予想PER（株価収益率）でも、2025年8月末時点でオーストラリア株は約20倍の水準にあり、米国株の約23倍と比べて**相対的な割安感**が残されていると考えます（図5）。

図4：オーストラリアの株式時価総額/名目GDP比



（出所）ブルームバーグ、豪州政府統計局、米商務省
（期間）2004年3月末～2025年3月末

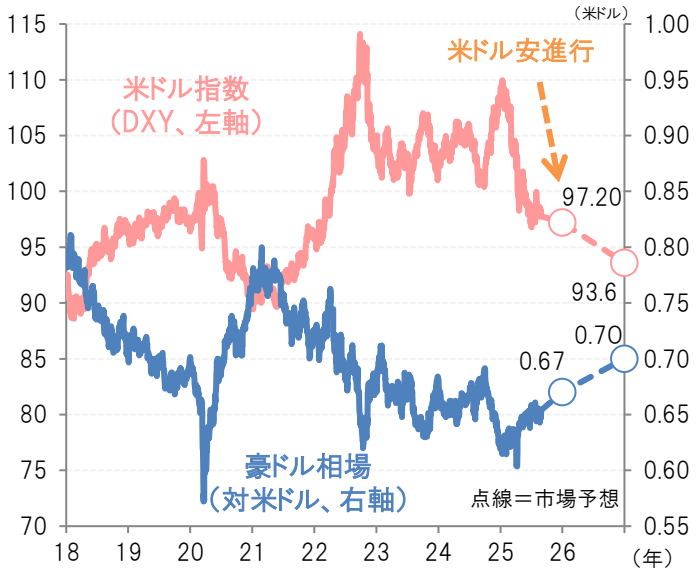
図5：オーストラリア株と米国株の12ヵ月先予想PER



（出所）ブルームバーグ （期間）2015年1月2日～2025年8月29日
※予想PER（株価収益率）=株価÷一株当たり利益予想

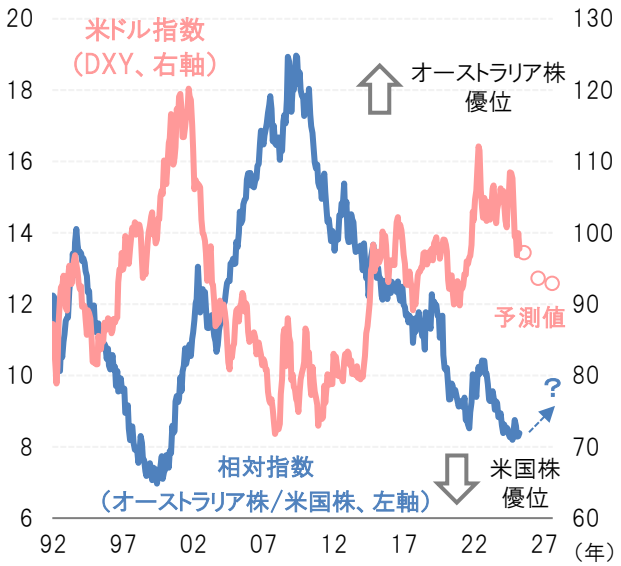
- トランプ関税をめぐる不透明感や、財政赤字拡大への懸念等から市場では「米ドルの信認問題」に対する議論が高まっており、**米ドル安進行の裏側で豪ドルが見直されつつあります**（図6）。
- 過去においては、米ドル安が進行する局面でオーストラリア株の対米国株の相対パフォーマンスが上昇する傾向にありました。米ドル安の進行が続く環境下では、**通貨分散の観点から主要な豪ドル建て資産であるオーストラリア株への投資を再評価する余地**があると考えられます（図7）。

図6：米ドル指数と豪ドル相場の推移



（出所）ブルームバーグ
（期間）実績：2018年1月1日～2025年8月29日、予想：2025年末～2026年末
※市場予想はブルームバーグ集計の市場コンセンサス（2025年8月末時点）

図7：米ドル指数と相対株価
（オーストラリア株/米国株）の推移



（出所）ブルームバーグ （期間）実績：1992年5月～2025年8月、
市場予想：2025年末～2027年末 ※市場予想はブルームバーグ集計の
市場コンセンサス （2025年8月末時点） ※オーストラリア株は
S&P/ASX200指数、米国株はS&P500指数

②安定した配当の積み上げが支える長期で良好なパフォーマンス

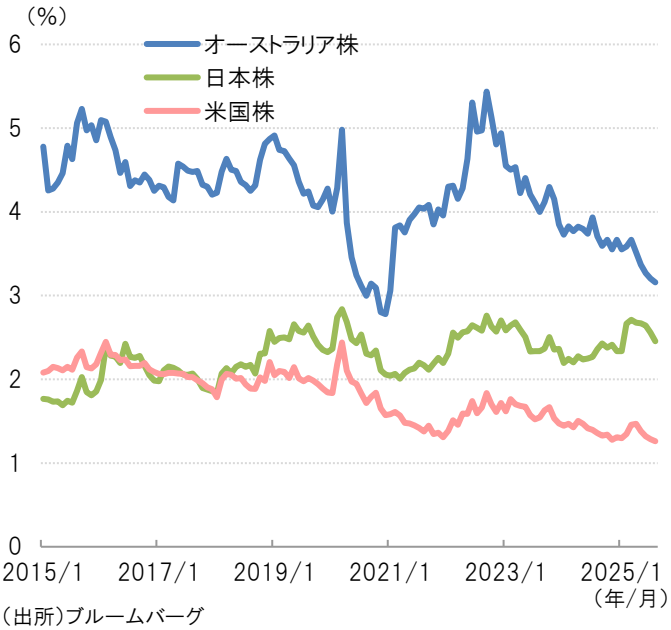
- オーストラリア企業は、**「配当による株主還元」を重視**する傾向にあることから、相対的に配当利回りが高く、配当性向も魅力的な水準にあります（図8）。
- オーストラリア株の**配当利回りは相対的に高水準**で推移してきました（図9）。

図8：オーストラリアの株式市場

	オーストラリア	（ご参考）米国	（ご参考）日本
時価総額	約269兆円	約9,190兆円	約1,005兆円
予想配当利回り	3.2%	1.3%	2.5%
配当性向	66.1%	32.6%	36.9%

（出所）ブルームバーグ、国際取引所連合、ファクトセット
※時価総額は2025年7月末時点のデータを1米ドル=149.95円にて円換算。米国はニューヨーク証券取引所とナスダックの合計値　※配当性向は過去5年（2020年～2024年の平均値）　※予想配当利回りは2025年8月末時点　※オーストラリア株はS&P/ASX200指数、米国株はS&P500指数、日本株は東証株価指数（TOPIX）

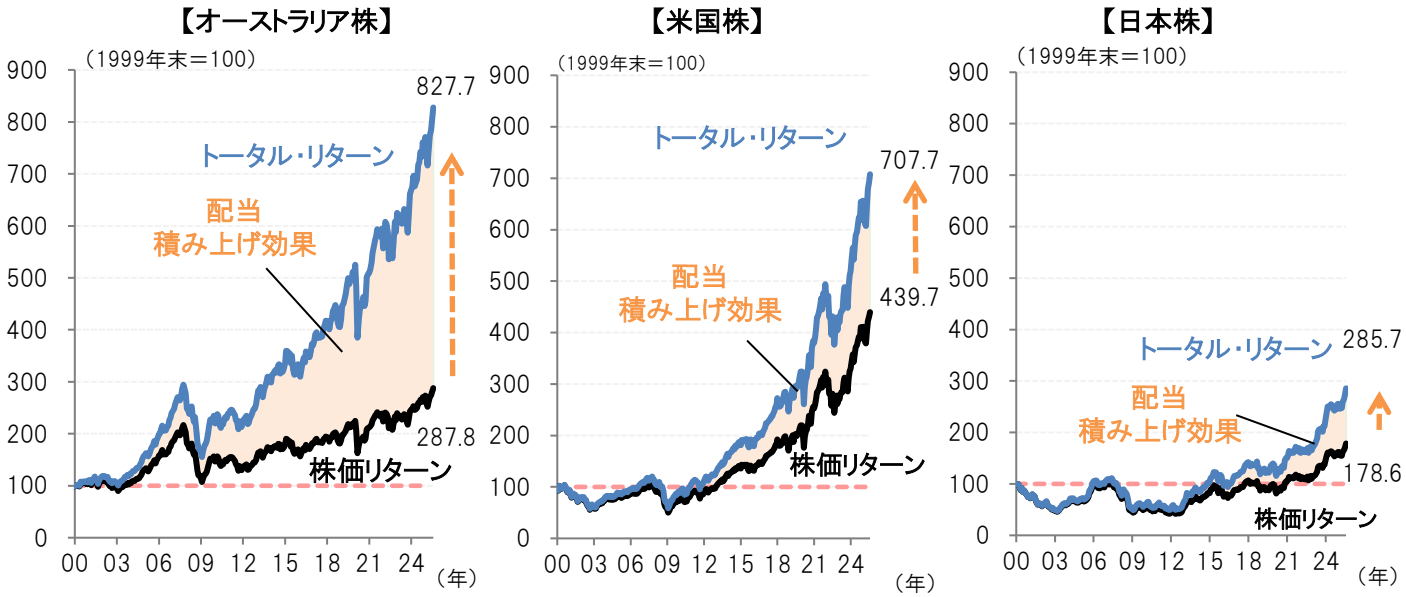
図9：オーストラリア株の予想配当利回りの推移



（出所）ブルームバーグ
（期間）2015年1月末～2025年8月末、月次
※オーストラリア株：S&P/ASX200指数、日本株：東証株価指数（TOPIX）、米国株：S&P500指数

- オーストラリア株の**安定配当は長期的にトータルリターンの押し上げに寄与**しています（図10）。

図10：オーストラリア、米国、日本株のトータルリターンと配当積み上げ効果（現地通貨建て）

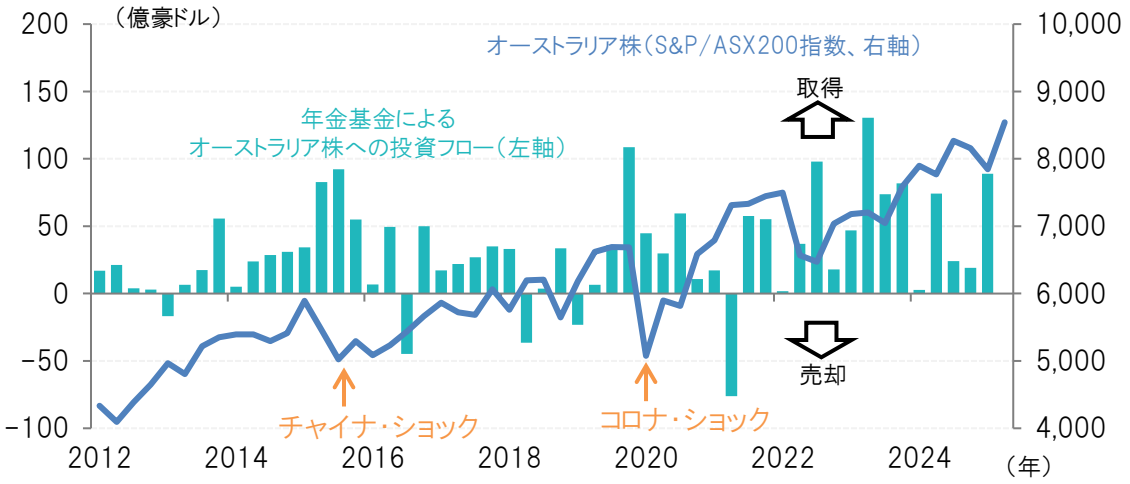


（出所）ブルームバーグ （期間）1999年12月末～2025年8月末、月次
※オーストラリア株はS&P/ASX200指数、米国株はS&P500指数、日本株は東証株価指数（TOPIX）

③株式市場を支える強固な年金制度

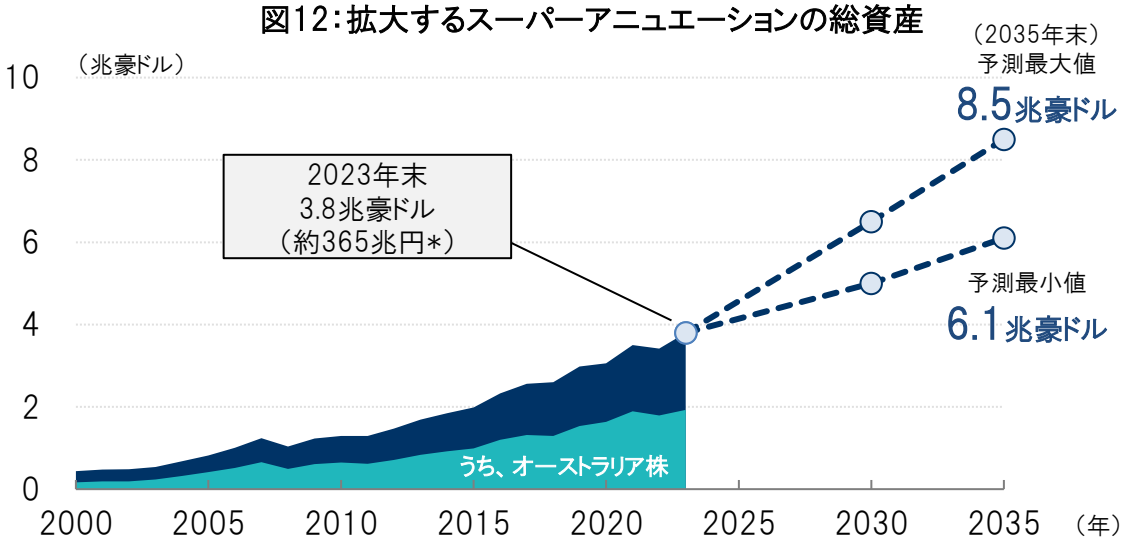
- オーストラリアでは会社が給与額の一定割合を拠出する「スーパーアニュエーション（年金基金）」という年金制度が存在しており、**同基金からの安定した資金流入が、株式市場の長期的な成長を支える重要な要因**となっています（図11）。
- 業界予測によれば、スーパーアニュエーションの総資産は2023年12月末の3.8兆豪ドルから2035年には最大で8.5兆豪ドルにまで拡大が見込まれており、**中長期的な年金資金の流入がオーストラリア株の安定的な下支え役**となることが期待されています（図12）。

図11：年金基金による株式投資フローの推移



（出所）ブルームバーグ、豪州政府統計局
（期間）投資フロー：2012年1Q～2025年1Q、四半期、オーストラリア株：2012年3月末～2025年6月末、四半期

図12：拡大するスーパーアニュエーションの総資産



（出所）豪州政府統計局、豪州スーパーアニュエーション基金協会
（期間）実績：2000年末～2023年末、年次予測：2030年、2035年の各年末時点　※予測は豪州スーパーアニュエーション基金協会が集計する業界予測（2025年7月時点）　＊為替は2023年12月末の1豪ドル＝96.09円にて円換算

当資料に関するご注意
●当資料は、フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、投資勧誘を目的とするものではありません。●当資料は、当社が信頼性が高いと判断した各種データ等に基づいて作成したものですが、その完全性、正確性を保証するものではありません。●当資料に記載されたグラフやデータ等は、過去の実績または予測であり、将来の市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他一切の権利は、その発行者に帰属します。●当資料は当社の許可なく複製・転用することはできません。●フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号） 加入金融商品取引業協会：一般社団法人投資信託協会 、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会